

はじめに

財団法人地域創造では、地域における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを目的として、地方公共団体等との緊密な連携の下に、財政支援、研修・交流、情報提供、調査研究などの事業を実施してまいりました。

今回は「地域の公立文化施設に関する調査」を実施したところであります。70年代以降、各地域において、ホール、美術館等の公立文化施設が盛んに建設されるようになりました。それに伴い、こうした施設を活用した活動の充実、いわゆる「ソフト」の取り組みの重要性が認識されるようになり、近年の厳しい財政状況にも関わらず、各地域のご努力でさまざまな活動が行われております。

こうした地域の公立文化施設の状況を、ハード・ソフトの両面にわたり調査し、データを集積するため、総務省のご協力を得て、平成12年12月に全国を対象とした「地域の公立文化施設に関する調査」を行ったものです。

この調査では、「ホール施設」「美術館」「練習場・創作工房」及びそれらの施設を含む複合施設の設置状況に加え、ホール施設においては、運営体制、自主事業の状況、ボランティアの活用状況など、美術館においては収蔵点数、運営体制、企画展の状況、教育普及活動の実施状況などを調査項目とし、地域の公立文化施設の状況を総合的に把握することを試みました。

この報告書は、今回の調査結果をとりまとめて集計、分析したもので、今後の地域における芸術文化環境の充実に資することを目的としています。

調査実施にあたっては、各都道府県をはじめ全国すべての地方公共団体の担当者の方々に多大なご協力をいただきました。この場を借りて深く感謝申し上げます。

この調査の成果が、現場で取り組む方々の参考となり、少しでも地域の環境づくりのお役に立てば幸いです。

平成13年3月
財団法人地域創造
理事長 遠藤 安彦